



2025 年 2 月号

発行：株式会社プロジェクト・エース
〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 1-36-9
エールハイム 202 TEL 03-5364-9301
https://projectace.jp/
年間購読料：5,500 円 (税込) 毎月 1 日発行 通算 6 号



今月の主な内容

- p1** 地域公共交通について考える
人の移動、まちづくりのツールとして
AI オンデマンド交通の実証運行開始
- p2** 長きにわたる点字職人としての現役生活引退
ウクライナ支援と平和への努力 (講演)
東京青年会議所杉並区委員会・卒業式
シェアキッチンオープン
荻窪にゾーン 30 プラス
スタンプラリー結果報告
杉並区成人式「二十歳のつどい」
- p3** 「困った人？」連載①
杉並ジオ探索 連載④
河北総合病院 新病院開設に向けて 連載④
あかねがくぼ都議 都政報告会
- p4** 地元求人 PR
介護人材就職フェア開催
年末年始杉並の人びと

いくつか、みんなで考える必要があります。

——移動困難な方々、福祉的な移動、送迎などの「福祉交通」も計画の中で一定の役割を担っていますが、新しい技術、ICT 活用が難しいとアクセスしにくい、置いて行かれてしまう人が出ないか、という配慮も必要ですね。

秋山糸織 理事長 移動困難な方々に対する交通の分野は、杉並は実は大変早くから進んでいて、他の自治体には無い先進事例として注目もされています。現在、福祉有償運送では、福祉車両でないセダン型の乗用車を多数活用できていますが、これは当時の行政の英断、支援があったからです。リフト券の仕組みや補助金など、利用者にも事業者にも支援制度があり、人が社会と繋がりが続けることが健康的な暮らしに欠かせないものと認識し、外出支援を重要視していたと考えています。

——予約システムなど、高齢者にはなかなかハードルが高いものもあり、これからも福祉的な移動サービスは大いに意義があると言ってよいでしょうか。

秋山 福祉交通は無くならない、と思っています。乗り降りにお手伝いが必要な方、ゆっくり見守りが要る方などは増えるでしょう。

尾田 グリーンスローモビリティや AI オンデマンド交通など、まだ緒についたばかりで、車両の種類が限られ、特にグリーンスローモビリティは車椅子での乗



人の移動、まちづくりのツールとして

杉並区内には鉄道 5 路線、バス 66 系統、すぎ丸 3 路線、タクシーによって公共交通のネットワークが構成されている。人手不足や燃油、資材の高騰などもあり、事業者にとって環境は厳しく、タクシー会社が減少し、路線バスも減便され、また移動困難な方々を支える福祉交通分野でも運転手不足は深刻で、区民の移動に影を落としてきている。また、環境配慮や技術の進展などで交通環境も大きく変化している。

このような背景を踏まえて、「誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備」を目指し、誰もが安心して、安全に、気軽に移動できる利便性のあるまちのために地域交通のマスタープランとして、「杉並区地域公共交通計画」が令和 5 年に作られた。最近動き出した荻窪南側地域の『グリーンスローモビリティ』



——地域交通計画は自治体ごとに立てられますが、令和 5 年の“杉並版”のポイントとは？ 早いところは平成 23 年の法改正で着手していたようですが、杉並にとってはそこまで優先課題ではなかったのでしょうか。

尾田謙二 課長 杉並区地域交通計画は令和 2 年の法改正によって努力義務となりました。それまで区全体の交通分野に特化した計画はありませんでしたので、協議会を設置し、部門をまたいでの検討が出来る体制づくりなどからスタートでした。3 年度に策定された杉並区基本構想をはじめとして、まちづくりや福祉分野などそれぞれの計画とも連携しています。

杉並の特徴として、公共交通は一定レベルで整備されており、東京 23 区内にある住宅都市です。近年では交通分野でもデジタル化など技術革新が進んできており、これらに対応していく必要性もあり、本格的な公共交通に関する計画を整える必要性が高まったと言えます。

降ができないなど、「誰でも」に追いつけていないのが現実です。公共交通と福祉交通の棲み分けはありますが、「誰もが」となるには、お互いが補完しあう関係性が求められます。

秋山 車両の種類など物理的な問題もありますが、認知症の方への対応や特別に配慮が必要な方へのアプローチ、共通認識は、既存の事業者にも求められます。

——グリーンスローモビリティやオンデマンドなど、相当な費用が注がれているはずで、やはり利用されなければ持続可能とは言い難いものになります。

尾田 荻窪のグリーンスローモビリティは、本格運行になって利用が実証時の 3 倍に増えました。リピーターをどう増やすか、また乗ってみたいと思っていただけか、まだこれからの課題です。

オンデマンドはこれから周知を進めるという段階で、1 年の実証運行の間でどれだけ使っていたか、いろいろなご意見や声をいただいて、本格運行につなげたいと思います。

秋山 地域の方々に実際に試してみて、気づいたこと、感じたこと、もっとこうしてほしいという要望や声をたくさん挙げてほしいですね。

尾田 交通不便地域への対応など重点的なものから進めていますが、これらは既存の交通機関につながるものでもあります。地域活性や移動しやすい環境、社

地域公共交通について考える



グリーンスローモビリティ自動運転車両の実証運行の様子

公共交通はハード面の整備が中心に考えられますが、杉並のいい意味で「ほどほど感」のある住みやすいまちという地域的な特徴を大切にしたいと思います。

——「ほどほどに便利」な住宅地ですが、タクシー会社が減り、バスも減便するなど、交通の面では不便さも増してきているのでは？

尾田 国が行う 10 年に一度のパーソントリップ調査、それに基づく東京都の分析によると、杉並区は 23 区内でも自転車利用による移動が最も多い地域です。人口は増えているのに、公共交通利用は減っています。交通不便地域の AI オンデマンド交通や地域性を活かしたグリーンスローモビリティなど、新しいものも上手に取り入れ、育てながら選択肢を増やすことが重要です。そこにはバックキャスト（※未来から逆算して目標を立てる戦略的思考）の視点が大切で、高齢化率が高くなる 2040 年代を見据え、次世代にどう引き継いで

会参画につなげるものです。お客様を取り合うのではなく、事業者も住民も、地域の交通を一緒に担っていると思っていただきたい。

秋山 杉並は自転車利用者が大変多いですが、高齢になって危ないから自転車は卒業、運転免許も返納となります。外に出かけない、移動しない、となることが心配です。その時にうまくシフトできるものであってほしいです。

尾田 交通の協議会で有識者が、防災意識の高まりから避難訓練を行うように、「移動訓練」もやっていくべきと話されています。身近にこのようなものがあつた、ということをもまずは知っておいていただきたいです。

秋山 地域の課題を考える時にこれまで「交通」についてはあまりテーマに挙がってきませんでした。これからは生活支援の中で「移動」をテーマにしていこうという気運になってきています。行政にすべてやってもらうのではなく、使える資源を活かして、私たちの移動手段として住民が育てていかなければいけないでしょう。

尾田 交通はまちづくりのツールのひとつであり、地域ごとのまちづくりに活かしていくものだと思います。

——地域の課題解決のひとつのツール、資源としての交通、利用する人も、事業者も、その地域に住む私たちの移動手段として共に育てていくものという意識が重要ということですね。本日はありがとうございました。(中田)



AI オンデマンド交通の実証運行開始

1 月 8 日より堀ノ内・松ノ木地区

杉並区は 1 月 8 日、AI オンデマンド交通「ちかくも」の実証運行を開始した。堀ノ内・松ノ木地区（堀ノ内 1、2 丁目、松ノ木 1、2 丁目、大宮 1 丁目）を対象に、五日市街道、環状七号線、方南通りに囲まれた交通不便地域で、タクシー車両（タクシー会社 5 社が協力）を用いて運行す

る。AI オンデマンド交通とは、利用者からの予約を受けて走る乗合型で、バスとタクシーの中間的なものといえる。LINE や電話での予約が必要で、乗換ポイントとしては、新高円寺駅や杏林大学杉並病院前、河北リハビリテーション病院、区民センターやゆうゆう館などがあり、こ

れら指定された 20 ヶ所の停留所で乗降可能。「ちかくも」はサービス名で停留所などにマークも表示される。

区は 1 年程度の実証運行の利用状況を検証し、将来的な運用が可能かどうか判断することになるため、地域の交通手段のひとつとして利用者がいかに活用、育

ていくかが存続の鍵となるといえる。



路上にミーティングポイント（停留所）を表示

点字製作の技術を追求して75年・佐藤寛さん 92歳

長きにわたる点字職人としての現役生活引退

2024年12月27日、佐藤寛さん（92歳）が、点字職人としての現役生活を終えた。佐藤さんが勤めていた社会福祉法人視覚障害者支援総合センター（引田秋生理事長）では、教科書などの点字出版を手掛けている。

文字だけでなく、グラフや地図、絵などを点字で表現するには細やかな配慮が必要で、全てを機械に任せることは困難。佐藤さんは機械・器具も手作りで工夫を施し、自らの感覚を駆使して作業に集中する。緻密さとこだわりが、作品の完成度を支えてきた。センターの引田理事長、職員の皆さんも「佐藤さんだからここまでのものが出来た」と言うほど、まさに精魂込めて作り上げてきた。

佐藤さんが点字職人の道を歩み始めたのは16歳のとき。ヘレン・ケラーに会いたいという純粋な願いから社会福祉法人東京ヘレン・ケラー協会に働き、点字制作に触れた。来日



点字製版の様子

したヘレン・ケラーに抱きしめられた瞬間は今でも忘れられないと言う。

視覚障害者支援センターでは就労継続支援B型事業所「チャレンジ」を運営しており、ここでは視覚障害者に限らず、障害種別を越えて、チャレンジする人たちが様々な作業を共同で行っている。視覚障害者が読み書きする点字（文字）の入力、点字印刷・製本などの作業を行い、点字教科書（小・中・高）、点字広報、点字選挙公報などを製作。点字・点図をあしらった自主製品も製作、販売している。佐藤さんが築いてきた点字技術と作業の工夫はここにしっかり根付いて引き継がれていくことだろう。（水田）

イエブトゥシュク・イーゴル氏が語る ウクライナ支援と平和への努力

1月8日、杉並区役所の第4会議室で杉並区交流協会主催の「在日ウクライナ人から見たウクライナ情勢・避難民の現状」の講演会が行われ、NPO法人ウクライナ友好協会 KRAIANY の副理事長を務めるイエブトゥシュク・イーゴル氏が講演。同氏は2015年に来日し大学院を卒業後、IT企業で働いており、杉並区在住。

イーゴル氏は避難者支援の課題として「日本語のサポート・就職サポート・相談窓口の充実」を挙げた。KRAIANY が運営するウクライナカフェ・クラヤヌイ（三鷹市）は、日本語がまだ上手く話せず働ける場が少ない避難者の働く機会と場、ウクライナ料理を提供し、日本の人々との文化交流やウクライナ人同士の情報交換の場ともなっている。

杉並区では、昨年11月時点で48名の



避難者を受け入れており、支援に積極的な自治体の1つであり、手厚さは恐らく日本一なのではないかと同氏は語り、感謝とともに今後の支援の継続を呼びかけた。

一方で、最近ではロシアとの戦争が日常化しメディアでの報道が減っていることへの危機感にも触れ、「今の日本の平和も当たり前ではなく、平和は先代の努力の上に成り立っていて、それを守るためにも私たち自身が努力を続ける必要がある」と訴えた。

東京青年会議所杉並区委員会 3名が40歳でJCを卒業

東京青年会議所杉並区委員会（中野純希委員長）は12月26日、吉祥寺エクセルホテル東急で2024年度の卒業式を開催。今回は柴田洋平氏、河北博道氏、市川雄一郎氏の3名が卒業を迎えた。青年会議所は1月から役員が交代することもあり、当日はOB現役合同忘年会を兼ねており、3名それぞれへの送辞・答辞のほか、活動や人物紹介を織り交ぜた自主制作の動画など趣向を凝らした内容で1年を締めくくった。



写真左から柴田氏、河北氏、市川氏

パンと焼き菓子のシェアキッチンがオープン!

建築設計事務所の新たな試み

杉並区役所近く、阿佐谷パールセンター商店街の南端にシェアキッチン uni（ユニ）がオープンする。地元の建築設計事務所・株式会社アトリエユニゾンが運営。『地元を支援し、コミュニティを更につなげる場を作りたい』との思いから、もともと事務所があった場所を新事業のシェアキッチンへと改装した。使用についてはメンバー制で、副業や趣味での制作や、料理教室などに使われることなども想定しており、「ここまで本格的なパン焼き設備を入れたシェアキッチンは珍しい」とは、

1/16のオープン記念イベントで振る舞われたパンの職人のコメント。なお、先行してコーヒースタンドが併設され、すでに営業している。

今後シェアキッチンについては内覧会やトライアル申込、クラウドファンディングも予定しており、利用案内・詳細などはインスタグラムで発信される。パンや焼き菓子を本格的に作ってみよう、いずれは店を出したい、と考えている方は、まず内覧会に参加してみるのもおすすめだ。（南方）



所在地：
杉並区阿佐谷南1-14-19

パン職人も太鼓判を押す、本格的なパン焼き設備。

工房隣接のコーヒースタンド。ショップオリジナルの焼き菓子なども日替わりで販売されている。

※詳細はInstagramにて



車の速度を出しにくくする交通事故対策

都内で2例目、荻窪4、5丁目に『ゾーン30プラス』

12月にオープンした荻外荘公園周辺地域、通学路にあたる荻窪4、5丁目エリアで「ゾーン30プラス」を導入した。生活道路など人優先の安全・安心な通行空間の整備を図るため、最高速度が時速30kmに規制された区域「ゾーン30」に、ハンプ（車道の段差）やボールなどの設置、路側帯を拡げて車道を狭くするなど、物理的なデバイスを組み合わせた「ゾーン30プラス」。車の減速を促すもので、道路管理者と警察が連携しながら整備し



全国で190ヶ所を超えるが、都内では墨田区に次いで杉並区が2例目となった。



東商のスタンプラリー「ぶらり杉並」1,000名超の参加で終了

東京商工会議所杉並支部50周年記念事業のデジタルスタンプラリー「ぶらり杉並」は12月25日に終了。結果は、参加者1,024名、総スタンプ数4,333、賞品応募441名となった。参加者アンケートには「地元でも知らなかった一面に気づき、楽しかった」「スタンプを取得した際にお店の方が話しかけてくださり嬉しかった」「区内を回れて楽しかった」「スタンプ設置のお店で初めて食事をした。美味しかった」などの声が寄せられた。



杉並区成人式「二十歳のつどい」

1月13日、杉並公会堂にて成人式典「二十歳のつどい」が開催された。対象者（今年度20歳）の数は5,350人。参加者は2,290人となった（速報値）。第一部では区長および列席者からの祝辞のほか、希望する参加者7名が20歳を迎えた抱負や感謝の言葉を壇上で発表した。また、第二部は区内に拠点を置く日本フィル

ハーモニー交響楽団による金管八重奏が式典を盛り上げた。杉並区ではコロナ禍を契機に、参加者の利便性向上を図る目的として、紙による案内状を確認する入場方式からスマートフォン等の画面提示によるものへ変更し、事前登録により参加者数を把握して開催している。

パンフレット

Sample

会社や団体の広報紙など

会社を、商品を、活動を、もっと素敵にアピール!

企画立案から取材、原稿作成、デザイン、印刷・製本・納品まで
各種印刷物の編集制作を一貫してお手伝いします。

※印刷はご指定の印刷所でも対応いたします。

会社案内

Sample

各種印刷物の編集制作なら **株式会社 プロジェクト・エース** TEL 03-5364-9301 Eメール: info@projectace.jp

「困った人？」

発達障害・パーソナリティ障害を
みんなが理解すれば……



『あなたを悩ます困った人 障害やこころの病気を理解する』（著者：柴田豊幸氏）より

第1回 あなたの考える「困った人」とは、どんな人ですか？

- ・空気が読めなくて、接しにくい人
- ・些細なことでも怒りっぽくて、関わりにくい人
- ・お客さんとよくトラブルを起こして、迷惑をかけてしまう人
- ・ミスを連発して、仕事がどんどん溜まってしまいがちな人

皆様のご近所や職場に、いませんか。もしかすると、こんな「困った人」と思われがちなその人たちも、障害やこころの病気がきっかけで悩んでいるかもしれません。このような人たちは、得意なことと苦手なことに対する表現方

法が多様なため、時に周囲の人を巻き込んでしまうこともあります。私たちのちょっとした言動が、実は「困った」状況を助長してしまっている可能性もあります。

そこで、このような行動や態度への向き合い方について皆様にも知っていただくことができるよう、サポートする側・される側の立場に立って必要なことを探っていきます。そして、相互の理解を深め、対応方法や支援の選択肢を増やすことで、社会全体で気持ちよく暮らしやすい空間を少しでも広げていきたいものです。



【著者紹介】(株)チャイルド社会長・(株)幼保経営サービス社長のほか、パピーナ保育園ほか各地の保育園園長や社会福祉法人理事長などを務め、自身も保育士資格を持つ。地域では荻窪法人会会長、東京商工会議所杉並支部副会長、杉並区社会福祉協議会理事など。

【著書・監修】「あなたを悩ます困った人 障害やこころの病気を理解する」「選ばれる園になるための実践マニュアル」「どうする！園の赤字」「園の働き方改革」など多数

障がいやこころの病気について考える

杉並ジオ探索

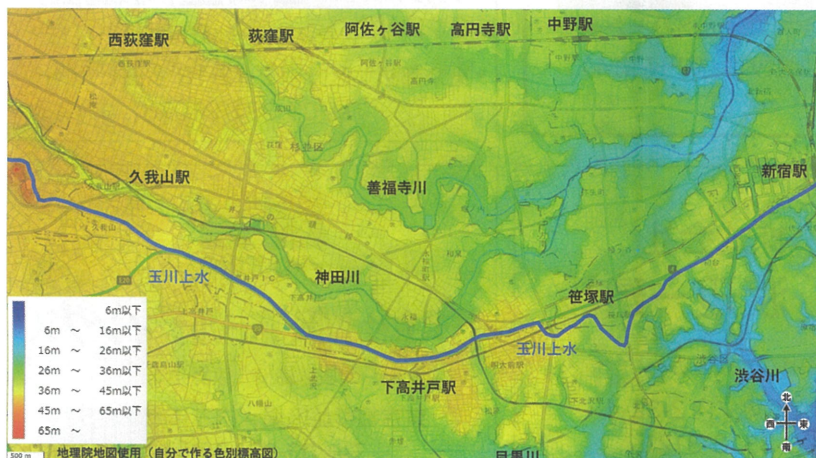
連載④

玉川上水に見る技術力

今回は台地の中の低い場所を流れる河川ではなく、**台地の上を流れる人工の河川**について注目してみます。杉並区の南縁付近に位置する**玉川上水**です。玉川上水は江戸の人口増加に伴い承応2年(1653年)に建設された上水用の水路です。江戸市中まで上水(飲み水等にできる水)を運ぶためには、河川と合流あるいは河川を横断することはできません。神田川は江戸の中心より北側を流れるので、神田川と交差しないためには神田川の南側に玉川上水を位置させる必要がありました。江戸の中心部の南西側には渋谷川や目黒川の支川があるので、これらの河川も避けなければいけません。図の青線は玉川上水の位置を示しています。河川によって生じた谷を避け、

図の西側から新宿駅付近へ水路を引くためには、現在の玉川上水の位置に設定するしかないと分かります。玉川上水位置の標高を見ると、西端付近が標高約55m(橙色)、東に向かって徐々に低くなり、新宿付近では標高約39m(黄緑色)となっています。図の範囲での玉川上水の延長は約14kmで、**標高差は約6m、平均すると1km当り約40cmの非常に緩やかな傾斜で流れ下っていること**になります。図の西側では南へ流下する仙川と東へ流下する石神井川の源流の間を抜けて、久我山駅の西側にある高まりの北縁に繋がっています。図の東側では新宿駅を抜けて新宿御苑の北東端付近の四ツ谷大木戸まで連続しています。現在では土地の標高も正確な地図とともにインターネット等でも確認できますが、**当時このような詳細な地形を把握するとともに地形を巧みに利用して玉川上水のルートを決めた技術力の高さ**には驚かされます。

(日本大学文理学部 非常勤講師 小俣 雅志)



2025年7月、**河北総合病院**(阿佐谷北)が現病院の隣接地に9階建て、353床の新病院を開院する。それにより一層強化され、地域にもたらされるメリットとして伝えたいことなど、今回は河北総合病院・鎌田孝一院長に地域に向けたメッセージを語っていただいた。(辰巳)



2025年7月オープン予定

創立96年の歴史と経験を糧に新たなスタート 3本の柱で病院の機能をさらに強化

当院はもともと杉並区を中心とする地域医療、救急医療の中核を担い、半径5kmほどの杉並、中野および周辺エリアの患者さんの受け入れを行っています。そしてこのたび、新病院の開院によって3本の柱を中心に、病院の機能強化を図ります。

まず1本目の柱は、がん治療の強化です。今までも当院では近隣施設と連携しながら、がんの治療に対応してきました。新病院では放射線治療を開始し、化学療法、手術、病理診断など、「がん診療センター」が統括する包括的ながん治療を当院内で行うことができる体制を整えました。

2本目の柱として、ロボット手術の導入が挙げられます。まずは、泌尿器科と消化器外科を皮切りに、患者さんの負担が少ない手術を提供できるようになります。ロボット手術は、術中の出血量が少ない、傷口が小さい、機能温存の向上や合併症のリスク軽減などを見込める、といった患者さんへのメリットが大きいのが特徴です。

3本目の柱は、救急体制の強化です。救急車の受け入れがしやすくなり、救急外来などへの導線が整備されるなど、今まで以上に急を要する患者さんの疾患状態に対応することが可能になります。

我々の使命として、 当院のスタッフ一同が心掛けていること

まずは、「医療の質と接遇」の向上です。前者に関しては、疾患状態の全体をみる総合診療科と専門性の高い各診療科の両輪で患者さんの治療に力を入れて取り組んでいます。また後者に関しては、患者さんと同じ目線に立ち、気持ちに寄り

添いながら、治療に対する共通理解が得られるようにしています。その理由は、患者さんが安心して満足しながら通院、治療に向き合っていただくことができる環境を作るためです。そのために、それぞれの医療スタッフが、患者さんにとって最適な治療を提供することを見据えて、日々知識を向上させ、提案力を身に付けることに努めています。

今回の新病院の開院にあたっては、この2点に加え、アメニティーの提供、つまり快適な空間の中で治療に臨んでいただけることを目指しています。例えば、設備面においては、病院の天井が高くなったり、カフェが入店したり、病棟からの見晴らしが良くなったりします。また、通院時に直接的に皆様に関係する部分では、外来にモニターを設置することで待ち時間をわかりやすく表示することができるようになり、最新の医療機器が導入されることで治療の選択肢が広がったりします。

このように、正しい知識と経験を兼ね備えた医療スタッフの充実と患者さんにとって心地よいホスピタリティを提供することで、地域の皆様の健康と医療に貢献していくことができると考えております。

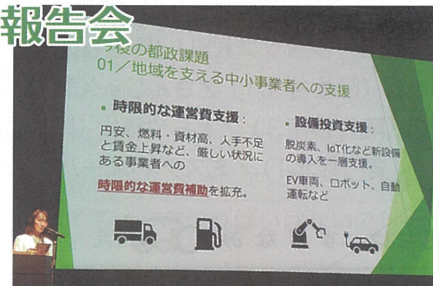
河北総合病院院長／整形外科主任部長
鎌田 孝一 (かまた こういち)
《主な専門分野》
肩関節・肘関節、スポーツ障害

順天堂大学整形外科教室非常勤講師
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会スポーツ医
日本整形外科学会リウマチ医
日本体育協会公認スポーツドクター
身体障害者福祉法15条指定医



あかねがくぼ都議 都政報告会

あかねがくぼかよ子都議会議員(都民ファーストの会)が1月18日、杉並公会堂小ホールで都政報告会を開催。冒頭での小池百合子都知事の挨拶に続いて、都議本人がスライドを示しながらの都政報告。さらには区議会議員3名(あかねがくぼ舞区議、井口えみ区議、宇田川ゆうじ区議)と対談スタイルで語り、区政と都政の連携も強調した。中小事業者支援のほか、少子化対策、子育て支援、医療、介護など、現状と課題、これから取り組みたいことを、ポイントを絞って



わかりやすい言葉で語った。あかねがくぼ都議は現在2期目。(中田)

エースの アシストクラブ

生活支援サービス

ご高齢の方や
「一人では不安」という方々の
「お手伝い」をさせていただきます！

ご自宅で生活される方、老人ホームなどで生活される方々で、人の助けがあれば外出できる、ご自身の都合でお出かけしたい、ご家族や職員さんの付き添いが難しいといった方々の「お手伝い」をいたします。

年会費なしで、ご利用の際は電話などで
予約可能。介護保険などの公的保険外の
サービスなので、フレキシブルに対応します！

これまでのご利用例：通院の同行(診察時の説明や薬の説明などもご家族や施設の職員にレポートでご報告)／おでかけサポート(お祭り、ドライブ、お墓参り、ご家族との会食など)／一緒にお買い物

お問い合わせ・申し込みは **TEL 03-5364-9301** Eメール: **info@projectace.jp**

『すぎなみ ace』地元求人 PR のコーナー

「地元の仕事が、あなたの毎日を変える」

杉並区内、私たちの地元には素敵な会社、良い職場がたくさんあります。身近にある会社、お店、施設などの「地域のおしごと」を「地元で働きたい人」にご紹介します。「できれば家の近くで仕事をしたい」「時間を有効に活用して働きたい」「新しいことにチャレンジしてみたい」「できればここで働いてみたい」「どのような職場なのか内容を知りたい」と思ったら、各社のホームページなどを見て、会社の担当の方とお話し、または見学して触れてみることをご提案します。(編集部にお問い合わせいただいても構いません)

地域密着保育園！「子どもたちと一緒に学び、成長するお仕事」

「チャイルド社」グループの保育園で働いてみませんか？

創業75年を迎える、子供の絵本で知られる「チャイルド社」グループの株式会社三恭は、杉並区内に6つのパピーナ保育園を運営しています。保育園界に携わってきた会社のノウハウを最大限に生かし、ICT を利用した保育管理システムの導入や、絵本や玩具、環境備品なども充実。就学前教育や英語、リトミック、体操教室なども、園の特徴に合わせて導入しています。

福利厚生や待遇面の充実、働き方改革に対応し、より働きやすい職場を目指してさまざまな取り組みが行われて



おり、育児休暇制度を利用された先生も多く活躍中です！幅広い年代の保育士



さんたちが活躍している元気な園で、一緒に楽しく保育をしてみませんか？見学も大歓迎！ご興味をお持ちの方は、ぜひご連絡をお待ちしています。朝や夕方時間帯だけ、スポットでお手伝い！も大歓迎です！！

働いている先生たちの声

「子どもの頃に読んでいた絵本の会社だった」「見学での園の様子が決め手です」「小規模園から大規模園まであり、それぞれの良さを学ぶことができるから」

認可保育所 パピーナ南荻窪保育園

【住所】南荻窪 4-42
(JR・丸ノ内荻窪駅西口より徒歩6分)

認可保育所 パピーナ西荻窪保育園

【住所】西荻窪 2-4-8
(JR 西荻窪駅北口より徒歩5分)

認可保育所 パピーナ本天沼保育園

【住所】本天沼 3-35-4 (JR・丸ノ内荻窪駅、西武新宿線下井草駅より徒歩15分)

認可保育所 パピーナ荻窪天沼保育園

【住所】天沼 3-15-20
(JR・丸ノ内荻窪駅北口より徒歩7分)

認可保育所 パピーナ荻窪北口保育園

【住所】天沼 3-6-27
(JR・丸ノ内荻窪駅北口より徒歩3分)

認可保育所 パピーナ久我山保育園

【住所】久我山 3-1-24
(京王井の頭線久我山駅南口を出て徒歩5分)

お問合せ先

株式会社 三恭

杉並区南荻窪 4-39-11

【電話】03-3333-5105

【ホームページ】

www.puppyna.com/recruit/



【お詫びと訂正】1月号の求人広告欄において、株式会社三恭様の広告内容に誤りがございました。当該箇所「社会福祉法人三恭」と記載しておりましたが、正しくは「株式会社三恭」です。株式会社三恭様ならびに読者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。今後はこのような誤りがないよう、確認を徹底してまいります。

区内特別養護老人ホームの施設長会主催

介護人材就職フェアを開催します



3月8日、午後1時から4時まで、区立産業商工会館で「杉並区介護人材就職フェア」が開催される。これは杉並区内にある23の特別養護老人ホームが参加し、施設長会が企画、主催して行うもので、「職業としての介護」を区民に改めて知ってもらい、「介護の魅力」をPRして人材確保につなげたい考え。そのためジョブチェンジで介護職員になった職員や学生のトークセッション、各施設の相談・説明会のほか、最新の介護用品やICT機器の展示、介護食の試食など協賛企業の協力も得てアピールする予定。

まずは「介護」について、あるいは仕事として何をするのかを理解するよい機会になるので、知ることから始めてみてはいかがだろうか。

杉並区介護人材就職フェア

日時：令和7年3月8日(土)

午後1時から午後4時

会場：杉並区立産業商工会館

共催：杉並区

後援：ハローワーク新宿、介護労働安定センター東京支部、東京都高齢者福祉施設協議会



編集長のつぶやき



皆さんの「なぜ？」から紙面づくり

2025年は2000年スタートの介護保険が25年、「すぎ丸」も2000年から運行開始で4半世紀走っている。NHKが放送100年を迎えるほか、●●周年のアニバーサリー(メモリアル)イヤーとなるものが話題に挙がる。長年にわたって維持、継続されていることには、一定の評価や意義があり、持続可能なための変化や対応力もあるからこそではないか。この5年のコロナ禍の影響で変化したものも多い。工夫や新機軸の導入で変貌を遂げつつ成長してきたものには大いに刺激を受ける。

しかし、「なぜこんなこと？」と思うことやものに出会うこともある。例え

ば、ジェネリック医薬品を増やそうという国策？は理解できるが、進め方には疑問があり、現実には多くの薬の供給不足が生じている。結果として困るのは患者である。また、介護職員の処遇改善は必要だが、介護施設はその他の多くの職種の職員や環境が支えていることへの配慮は十分なのか？自身で関わる人が多い分野のことだけ見ても「何かおかしくないか？」とを感じるものがあり、きっと、皆さんもそれぞれの分野で疑問に思うこと、発言したいことが多々あるのではないだろうか。その「なぜ？」を皆さんと話しながらか、声を集めながら紙面づくりの歴史を積み上げていけるようになりたい。

編集発行人 中田あかね

すぎなみ ace は
こちらに置いていただいています

アママコムギ(本天沼3)/大藪保険コンサルタント(天沼3)/おきやんち(阿佐谷北3)/オートセンターイグチ井草店(井草5)/カレーショップKYU-(阿佐谷北1)/河北総合病院(阿佐谷北1)/高円寺南保育園(高円寺南4)/興建社(荻窪5)/さんじゅ阿佐谷(阿佐谷北1)/さんじゅ久我山(久我山3)/新泉サナホーム(和泉1)/杉並区立中央図書館/西武信用金庫 阿佐ヶ谷南支店(阿佐谷南3)/とらや椿山(阿佐谷南1)/PIZZA FORNO CAFÉ ビーンズ阿佐ヶ谷店(阿佐谷南2)/マイルドハート高円寺(高円寺北1)/ミスティ・オーパース(阿佐谷南2)/武蔵商事(株)(上荻1)/Yazetto(阿佐谷北1)/渡辺建設(株)(高円寺南4)

私たちは すぎなみ ace を応援します！

まちづくりを共に考える



有限会社
トライエム

代表取締役 前田義之

東京都杉並区阿佐谷南 1-34-6
新東京会館ビル



株式会社
アーバンファミリー

アフラック募集代理店
代表取締役社長 榎原裕記

東京都杉並区上荻 1-23-19-4A 東神荻窪ビル
Tel. 03-3391-8808



株式会社
渡辺一建設

代表取締役 渡辺功一

東京都杉並区堀ノ内 2-32-4
Tel. 03-3313-3121



株式会社 MK ホールディングス

代表取締役 牧野光洋

東京都杉並区堀ノ内三丁目 25-5
Tel. 03-3313-2511

社会福祉法人杉樹会が運営する
福祉有償運送サービス

サポートさんじゅ

法的な講習を受けたドライバーが運転

必要に応じて添乗や介助などの支援も



高齢や障害などで自身で公共交通機関などを
利用する外出が難しい方々の移動をサポート



通院、通所、通学、お買い物などの日常の移動だけでなく、
楽しみのお出かけもお手伝いします。

お問い合わせ・お申し込みは TEL 03-5364-9302